

諏訪教育会公益法人化 10 周年



未来の子ども
たちのために

地域の
ために

教職員の
資質向上の
ために

公益社団法人 諏訪教育会

10周年を迎えて

平成24年度 諏訪教育会 会長 行田 喜信



表今の学習指導要領の底流をなしているキーワードが「不易」と「流行」にあるということは言を俟たないところ。それは社会の大きな変革の流れの中で求められている教育改革の前提にもなっていることなのです。

ご承知のように私たちの諏訪教育会も、誕生した当初は「子どもへの教育をどのように推進していったらよいか」という極めて本質的かつ率直明快な教師自身の内なる叫びが根底にあって出発したように思います。そうした教師が集まり、議論しては実践し、それをくり返し積み重ねていく中で、今日の教育の在り方が確立されてきたように思うのです。もっとも、教育には「これ」という定まったものではなく、現在も「途上にある」とも言えるわけで、確立されてきたというのは言い過ぎかもしれませんが……。一方、組織が拡大し、膨大な予算等に併せて学びの拡大や公共性が求められるようになると、公的責任や様々な開示の要請も含め、広く社会に認められていく段取りが必要になってきます。

今に続く教育会の伝統が「不易」とすれば、まさに公益社団法人としての諏訪教育会は「流行」の側に属する事柄となるものでしょう。いずれにしても、教育の本道を追求しながらも公益性を常に意識して、諏訪の子どもや地域のためにご尽力くださっている先生方、関係者にあらためて敬意を表しながら、諏訪教育会の更なる発展を祈念いたします。

これからの
諏訪教育会は
このような活動
をめざします！

コロナ禍・心と体の健康

・表現ダンスや体づくり運動などの研修に加え、コロナ禍における体の維持などについて考えていきます。(体育・保健体育委員会)
・SOSの出し方、がん教育など今日的課題に取り組んでいきます。(健康教育委員会)

SDGsの視点

観察会 実地観測などSDGsの視点で持続可能な社会をめざして取り組みます。(自然調査研究委員会)

ICTの活用

タブレット、ICTをさらに活用することや、デジタル教科書の効果的利用について広く情報を集め実践につなげます。(教科等研究委員会、情報教育委員会)

地域の人・こと・ものとのつながり

培ってきた各市町村の社会福祉協議会との関係をさらに発展させ、授業に生かせる学習プログラムの開発を進めます。また、資質・能力の育成に努めます。(福祉教育委員会、教科等研究委員会)

教科等横断的学習(カリキュラム・マネジメント)

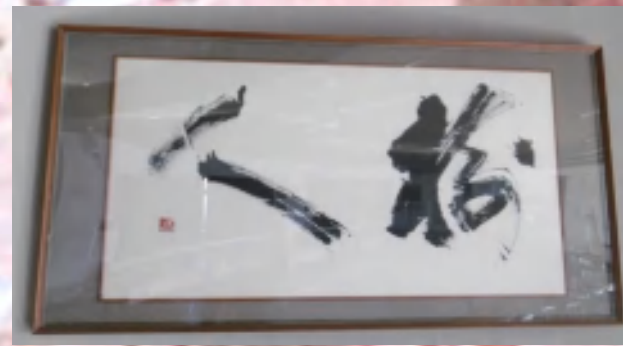
人との出会いを大切に、探究的な見方・考え方を深めた豊かで総合的な教育を目指します。また、教科間の関連、生活に根ざした学習を実践します。(総合的な学習の時間委員会、教科等研究委員会)

インクルーシブ教育

めまぐるしく変わる特別支援教育において、お家の方や教職員に大切な点などをわかりやすく広めていきます。(特別支援教育委員会)

幼・保・小との連携

幼保と小の連続性を大事にし、造形遊び・リズム・運動遊びなど無理なくつなげる方法を考えていきます。(幼年教育委員会)



平林舟鶴先生が書かれた「樹人」。
中国の古典『管子』にある言葉。
「終身之計、莫如樹人」(終身の計は人を樹(う)うるに如(し)くは莫(な)し)
一を植えて百の収穫があるのは人である。つまり「人を育てること・人が育つことが肝要！」との教え。
(諏訪教育会館 大会議室 掲額)

令和時代も、諏訪の子ども輝く明日に向かって！

令和2年度 諏訪教育会 会長 小林 高志



令和3年度、諏訪教育会「公益化10周年」
本当におめでとうございます！

平成18年、国で「法人法・認定法・整備法」の3法案が成立し平成20年12月施行。

諏訪教育会の5年間の移行期間には、『公益化検討委員会→準備委員会→推進委員会』が設置され、組織変更や予算収支の会計システム変更に加え、定款・諸規定を見直し「公益化」申請に向けて多くの先輩方が専門家に学び知恵を絞り、校務忙しい中でも多大な時間を費やし丁寧に進められたご努力があったことを、私たちは決して忘れてはなりません。

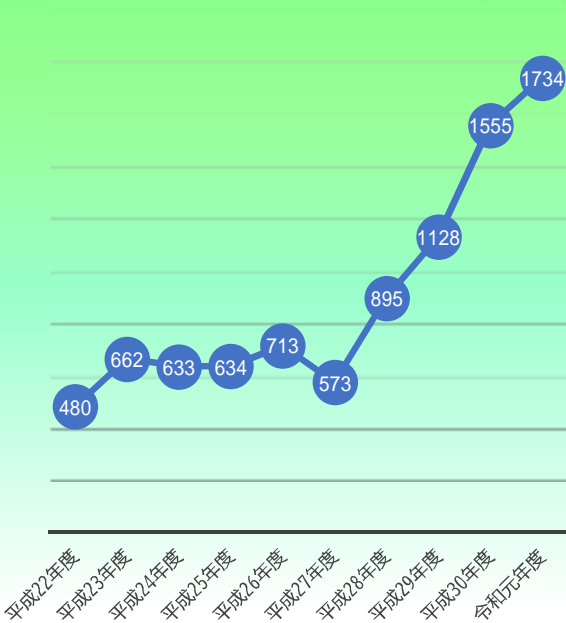
さて、私たちはこの10年間、『子どもを常に中心に、より掲げる』『自己研鑽を積んで、より深める』『保護者・地域全体に、より開く』をテーマとしコツコツと歩んで参りました。

そして、令和時代。新型コロナウイルス感染防止に配慮しながら、強く生きる私たち。

「♪今、諏訪」の子どもは、そして、目の前にいる児童・生徒は、どこを観ていますか？「空を・前を・そして明日を観ている」。私たちも顔を起し、自分の未来に向かう子どもと共に、伝統を受け継ぎ、新学習指導要領やGIGAスクール構想等々を踏まえ、諏訪で学び研鑽し公益性を広げ、今後とも諏訪の多くの仲間と共に、諏訪らしい発展的創造力をもって明るく歩んで行きましょう！！

企画・展示を充実させ、 地域にさらに開く教育博物館へ

諏訪教育博物館 来館者数の推移 (単位:人)



深い専門性に学ぶ 諏訪季節大学講演

平成24年度 「悩む力」 東京大学大学院教授 姜 尚中さん

平成25年度 「夢を探そう」 東京藝術大学学長 宮田 亮平さん

平成26年度 「ことばを育てる・人を育てる」 大村はま記念国語教育の会 苅谷 夏子さん

平成27年度 「向上心に火をつける」 お茶の水女子大学名誉教授 外山 滋比古さん

平成28年度 「逆境から学ぶ」 画家・グラフィックデザイナー 原田 泰治さん

平成29年度 「ティラノのやさしさ・ニャーゴのおもいやり」 絵本作家 宮西 達也さん

平成30年度 「生命を捉えなおすー動的平衡の視点からー」 生物学者・青山学院大学教授 福岡 伸一さん

令和元年度 「城から考える歴史」 奈良大学学長 城郭考古学者 千田 嘉博さん

令和2年度 コロナ感染拡大のため、5月の季節大学は中止。

10月:「ロボット技術と未来社会」 千葉工業大学未来ロボット技術研究センター所長 古田 貴之さん

11月:「諏訪地域の新しい歴史ロマン」 日本画家・古代史研究者 川崎 日香理さん

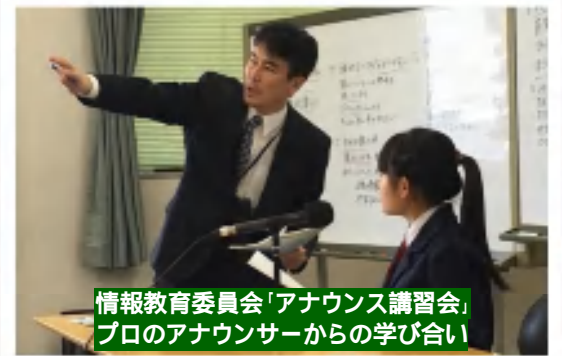


令和元年度 「城から考える歴史」より

充実した委員会活動の様子



国語委員会「俳句講座」
地域で活躍される俳句の先生からの学び合い



情報教育委員会「アナウンス講習会」
プロのアナウンサーからの学び合い

開かれた
教育会を
めざして

委員会
活動の
充実

教職員の
力量を
高める



環境教育委員会
コロナ禍でも楽しめるネイチャーゲーム



科学する心を育てる委員会
つくって遊ぼう親子科学教室



登山の菜委員会
東天狗岳にて初心者のための登山研修



図工美術展委員会
すわっチャオにて作品展



みずうみ・やまなみ委員会
郡文集を用いた授業の
ワークショップ



地域の自然に学ぶ
霧ヶ峰自然観察会